

県内経済動向調査結果（平成22年7月分）

平成22年 9月 8日
産 業 政 策 課

概 況

県内経済は、依然として厳しい状況にあるものの、製造業を中心に持ち直しの動きが見られる。

主な業種	状 況
製 造 業	持ち直しの動きが広がっている 生産額、受注額はそれぞれ前年同月比27.9%増、同33.6%増となった。3カ月先の業況見通しDIは12.9から▲4.7となった。
建 設 業	公共工事の減少により弱めの動きが続いている 受注額、完工高はそれぞれ前年同月比18.5%減、同14.1%減となった。3カ月先の業況見通しDIは▲18.8と横ばいであった。
小 売 業	猛暑の影響により家電や飲食料品が好調である 売上高は前年同月比3.4%増、3カ月先の業況見通しDIは▲27.6から▲21.4となった。
サービス業	運輸業で回復の動きが見られる 売上高は前年同月比4.9%減、3カ月先の業況見通しDIは▲0.6から▲5.7となった。

製造業の動向

1 食料品

弱含みとなっている

生産額は前年同月比3.4%減と前年同月を下回っている。3カ月先の業況見通しDIは13.3から6.7となった。

加工食品において、一部企業で生産額が前年同月を上回っているものの、酒類では、猛暑の影響により売上額が落ち込んでおり、全ての企業で生産額が前年同月を下回っている。

総じて見れば、ほとんどの企業で生産額が前年同月を下回っており、低調な動きが続いている。

2 繊維・衣服

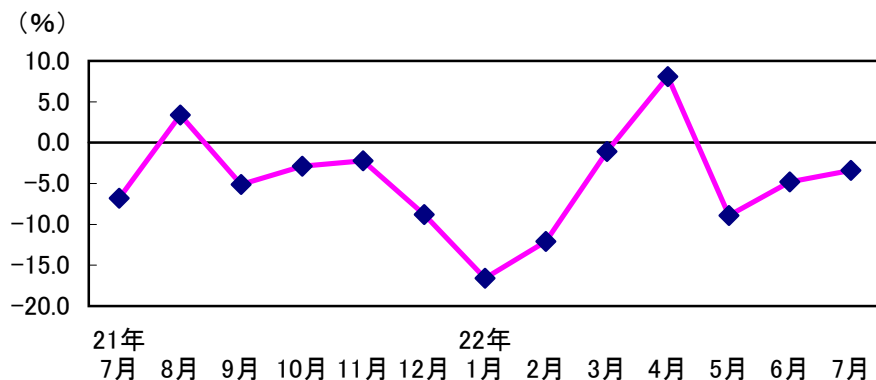
弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比3.7%減、同0.9%増。3カ月先の業況見通しDIは33.3から50.0となった。

一部企業でスポーツカジュアル衣料や通信販売用の女性衣料が堅調であるものの、多くの企業で受注動向が鈍く、生産額は前年同月を下回っている。

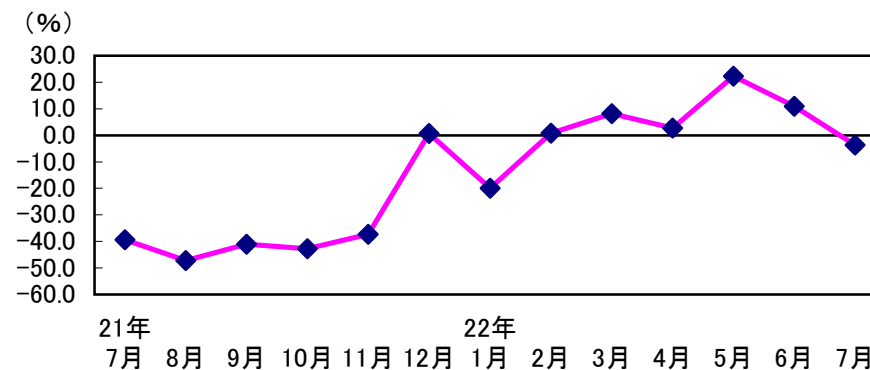
総じて見れば、弱めの動きが続いている。

食料品生産額前年同月比



	21年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
食料品	-6.8	3.4	-5.1	-2.9	-2.2	-8.8	-16.6	-12.1	-1.1	8.1	-8.9	-4.8	-3.4

繊維・衣服生産額前年同月比



	21年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
繊維・衣服	-39.4	-47.2	-41.1	-42.8	-37.3	0.7	-20.0	0.8	8.2	2.7	22.3	10.9	-3.7

3 木材・木製品

やや強含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比5.7%増、同5.2%増。3カ月先の業況見通しDIは25.0から16.7となった。

合板で、販売単価の値上がりと受注が堅調であることから、生産額が増加している。

一般製材や集成材でも、一部企業で生産額が増加しており、幾分改善されつつある。

なお、県内の新設住宅着工戸数は14カ月ぶりに前年を上回ったものの依然低水準であり、住宅市況の落ち込みが懸念される。

4 鉄鋼・金属製品

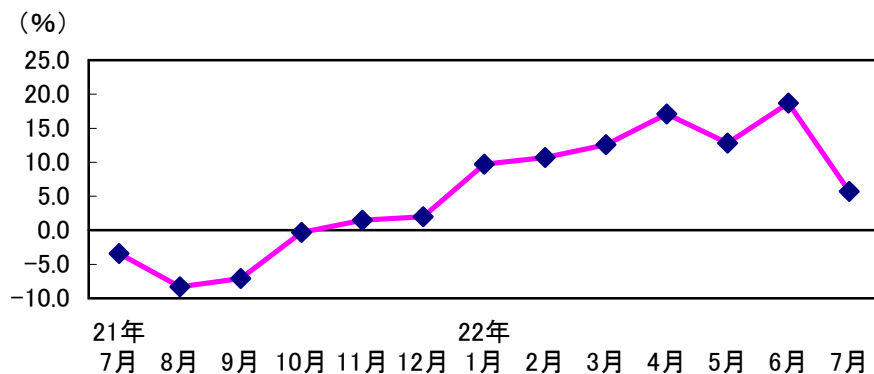
弱含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比15.9%増、同18.2%増。3カ月先の業況見通しDIは36.4から9.1となった。

コンピュータ関連部品が好調に推移しているほか、自動車関連部品が好調となっている。

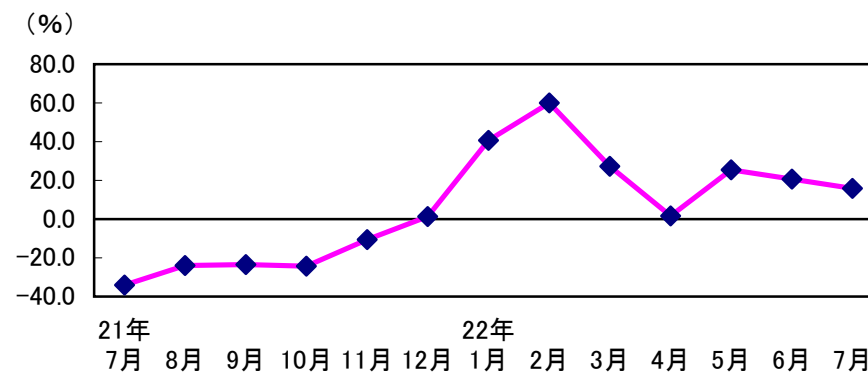
一方、産業設備関連では受注件数の減少などから、前年同月比でマイナスの状況となっている。

木材・木製品生産額前年同月比



	21年							22年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
木材・木製品	-3.4	-8.3	-7.1	-0.3	1.5	2.0	9.7	10.7	12.6	17.1	12.8	18.7	5.7	

鉄鋼・金属生産額前年同月比



	21年							22年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
鉄鋼・金属	-34.0	-23.9	-23.4	-24.3	-10.5	1.3	40.6	60.0	27.3	1.7	25.5	20.7	15.9	

5 一般機械

弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比10.4%減、同9.8%減。3カ月先の業況見通しDIは0.0から▲12.5となった。

産業機械設備関連で生産額が前年同月を上回っている企業が見受けられるものの、公共工事関連の受注が思わしくなく落ち込んでいる企業がある。

総じて見れば、全体的に受注動向が思わしくなく、弱めの動きとなっている。

6 電気機械

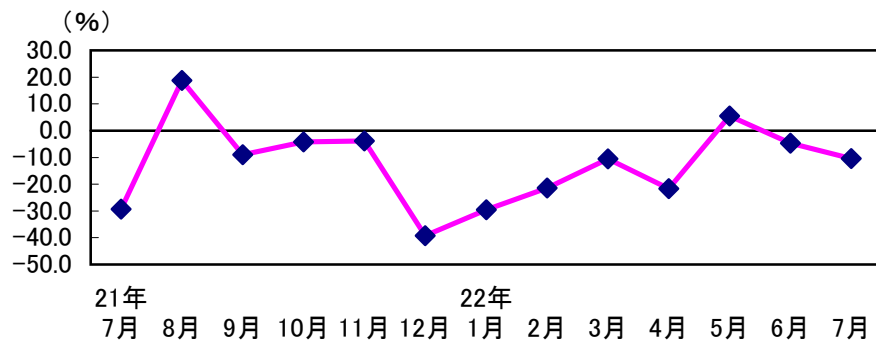
強めの動きとなっている

生産額、受注額は、それぞれ前年同月比34.4%増、同36.6%増。3カ月先の業況見通しDIは5.3から▲35.0となった。

前年の生産額の落ち込みが大きかったことから、前年同月比では大幅増となっている。依然として一昨年水準には至っていないものの堅調に回復しており、持ち直しの動きが続いている。

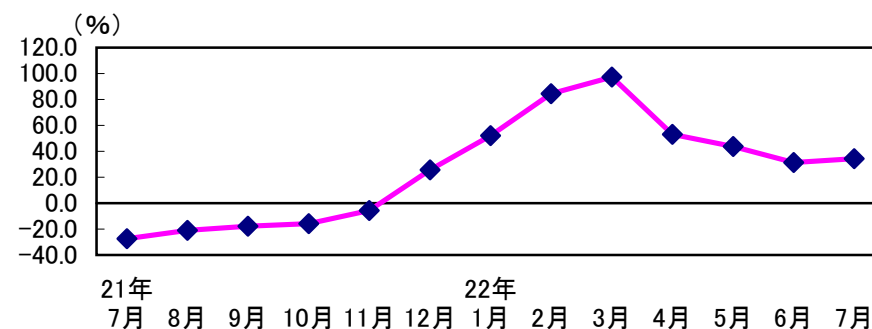
海外需要が好調であることから、コンデンサー、半導体関連、電子部品組立関連など、幅広い分野でフル生産状態となっている。

一般機械生産額前年同月比



	21年						22年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
一般機械	-29.3	18.8	-9.0	-4.2	-3.8	-39.2	-29.6	-21.4	-10.5	-21.6	5.5	-4.7	-10.4

電気機械生産額前年同月比



	21年						22年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
電気機械	-27.3	-21.1	-17.7	-15.9	-5.7	25.6	52.0	84.5	97.2	53.1	43.6	31.4	34.4

7 輸送機械

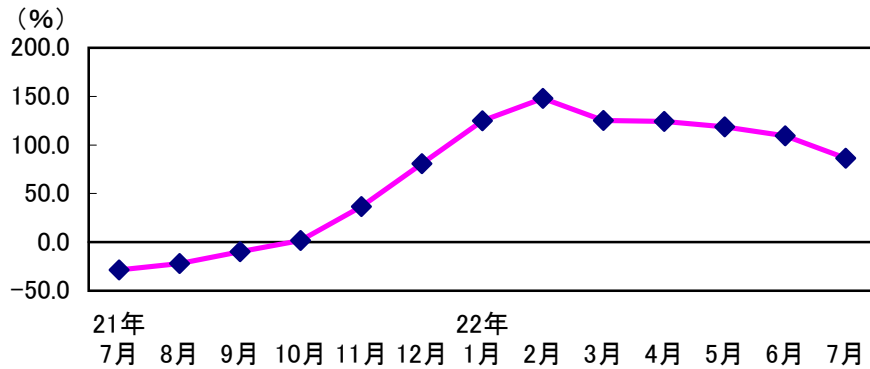
回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比86.5%増、同86.0%増。3カ月先の業況見通しDIは0.0から▲16.7となった。

好調な自動車販売に支えられ、生産額は堅調に推移している。

また、一部企業では一昨年を上回る生産額となるなど、回復基調が続いている。

輸送機械生産額前年同月比



	21年	8月	9月	10月	11月	12月	22年	2月	3月	4月	5月	6月	7月
	7月						1月						
輸送機械	-28.5	-22.0	-9.7	1.6	36.7	80.9	124.8	148.1	125.3	124.4	118.8	109.5	86.5

8 精密機械

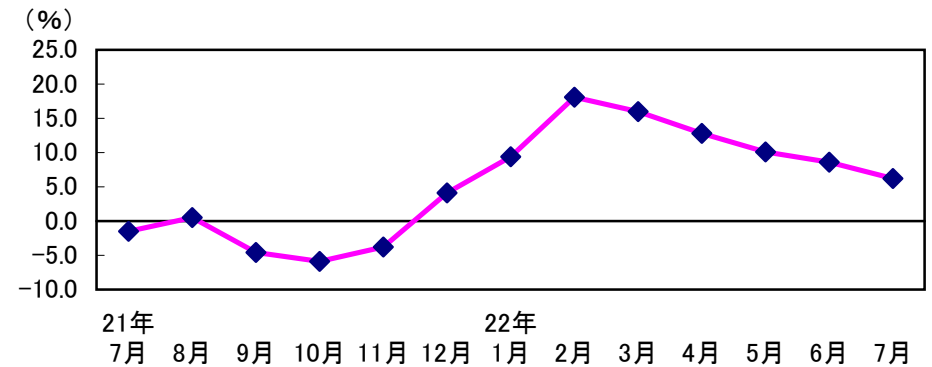
強めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比6.2%増、同19.1%増。3カ月先の業況見通しDIは▲12.5から▲25.0となった。

光ファイバー関連部品やデジタルカメラ関連部品など総じて生産額が増加しているほか、医療関連商品についてもフル生産状態となっている。

生産額は一昨年を上回るほどに回復しており、総じて好調に推移している。

精密機械生産額前年同月比



	21年	8月	9月	10月	11月	12月	22年	2月	3月	4月	5月	6月	7月
	7月						1月						
精密機械	-1.5	0.5	-4.6	-5.9	-3.8	4.1	9.4	18.1	16.0	12.8	10.1	8.6	6.2

建設業の動向

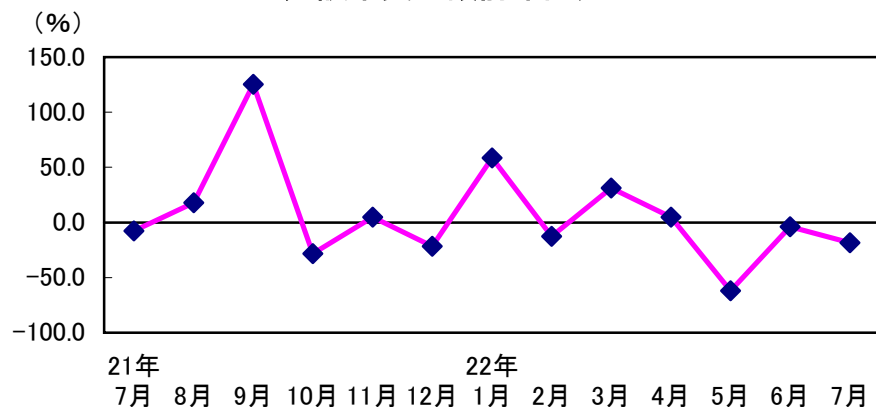
建設業

公共工事の減少により弱めの動きが続いている

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比18.5%減、同14.1%減。3カ月先の業況見通しDIは▲18.8と横ばいであった。

公共工事の減少に伴い、受注額が前年同月を下回っている企業が多い。全体としても受注額は前年を下回っており、弱めの動きが続いている。

建設業受注額前年同月比



	21年	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建設業	-7.8	17.8	125.4	-28.2	4.7	-21.5	58.5	-12.5	31.3	4.7	-62.0	-3.8	-18.5		

小売業の動向

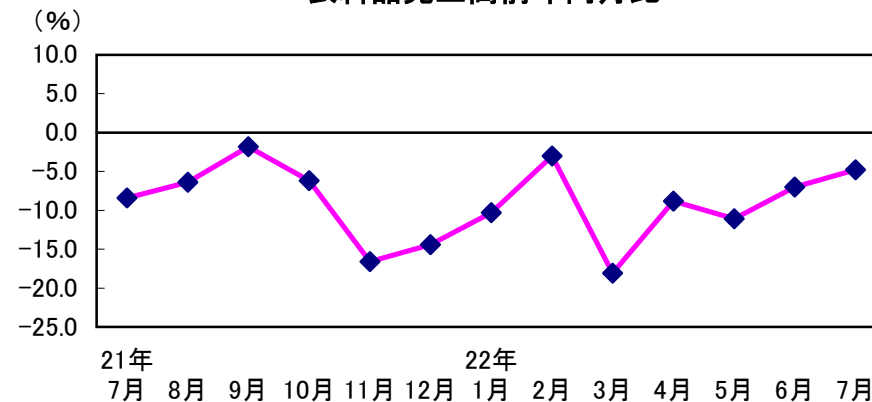
1 衣料品

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比4.8%減。3カ月先の業況見通しDIは▲20.0と横ばいであった。

夏物衣料に動きがあり、一部企業で売上額が前年同月を上回っているものの、全体としては売上額が前年同月を下回っており、総じて厳しい状況が続いている。

衣料品売上高前年同月比



	21年	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
衣料品	-8.4	-6.4	-1.8	-6.2	-16.6	-14.4	-10.3	-3.0	-18.1	-8.8	-11.1	-7.0	-4.8		

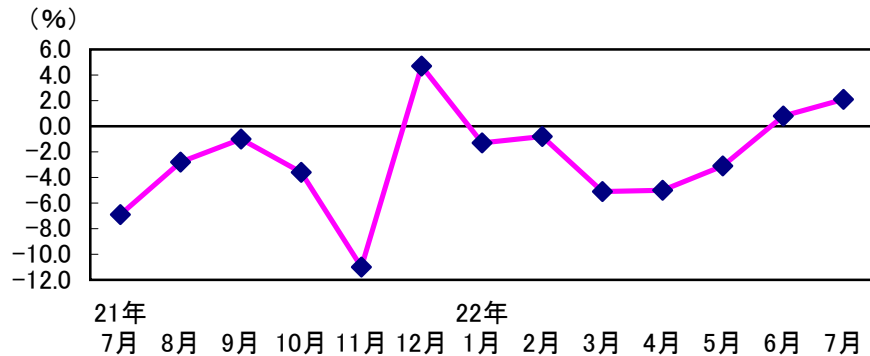
2 身回品

弱含みとなっている

売上高は前年同月比2.1%増。3カ月先の業況見通しD Iは▲14.3から0.0となった。

一部企業で猛暑の影響により夏物商品の売上げが好調なことから前年同月を上回っている。しかし、ほとんどの企業で前年同月を下回っており、総じて見ると弱含みとなっている。

身回品売上高前年同月比



	21年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
身回品	-6.9	-2.8	-1.0	-3.6	-11.0	4.7	-1.3	-0.8	-5.1	-5.0	-3.1	0.8	2.1

3 飲食料品

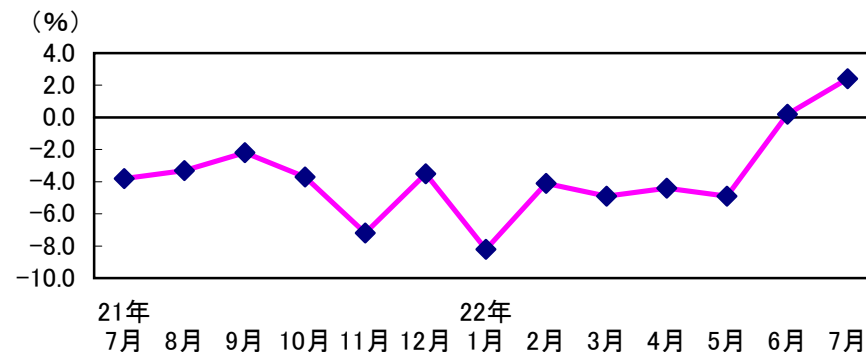
猛暑の影響により夏季商品が好調

売上高は前年同月比2.4%増。3カ月先の業況見通しD Iは▲53.8から▲38.5となった。

猛暑の影響により、飲料品・冷菓・冷たい麺類などの夏季商品が好調であり、売上額を押し上げた。

コンビニにおいても同様の傾向がみられ、全体の売上額は前年を上回った。

飲食料品売上高前年同月比



	21年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
飲食料品	-3.8	-3.3	-2.2	-3.7	-7.2	-8.2	-4.1	-4.9	-4.4	-4.9	0.2	2.4	

サービス業の動向

4 家電品

猛暑の影響によりエアコンや扇風機が好調

売上高は前年同月比15.7%増。3カ月先の業況見通しDIは25.0から0.0となった。

猛暑の影響によりエアコンや扇風機、冷蔵庫の売れ行きが好調であり売上額を押し上げた。薄型テレビは台数が伸びているものの単価の下落が見受けられる。

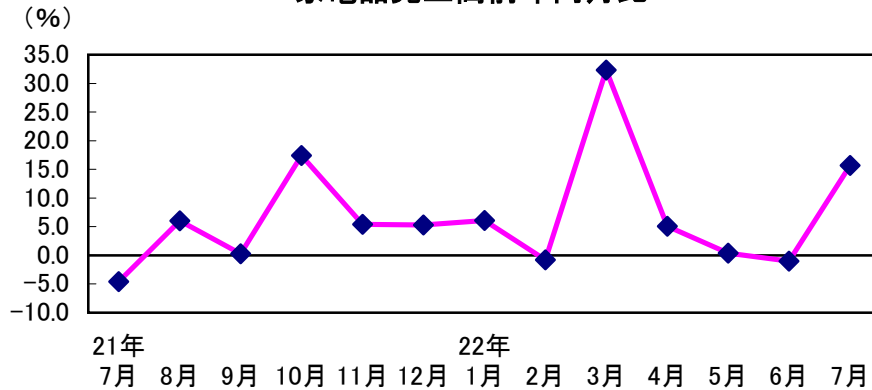
1 旅館・ホテル

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月7.2%減。3カ月先の業況見通しDIは▲13.3から20.0となった。

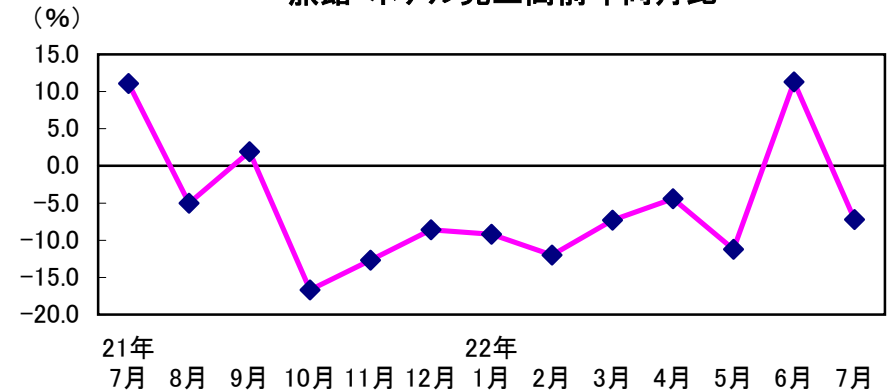
婚礼部門で売上額が落ち込んだことに加え、宿泊部門でも客数・客単価の減少により売上額が落ち込んでいることから、全体として前年同月を下回っている。

家電品売上高前年同月比



	21年	21年	21年	21年	21年	21年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
家電品	-4.6	6.0	0.3	17.4	5.4	5.3	6.1	-0.8	32.3	5.1	0.4	-1.0	15.7

旅館・ホテル売上高前年同月比



	21年	21年	21年	21年	21年	21年	22年	22年	22年	22年	22年	22年	22年
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
旅館・ホテル	11.1	-5.0	1.9	-16.7	-12.7	-8.6	-9.2	-12.0	-7.3	-4.4	-11.2	11.3	-7.2

2 その他サービス

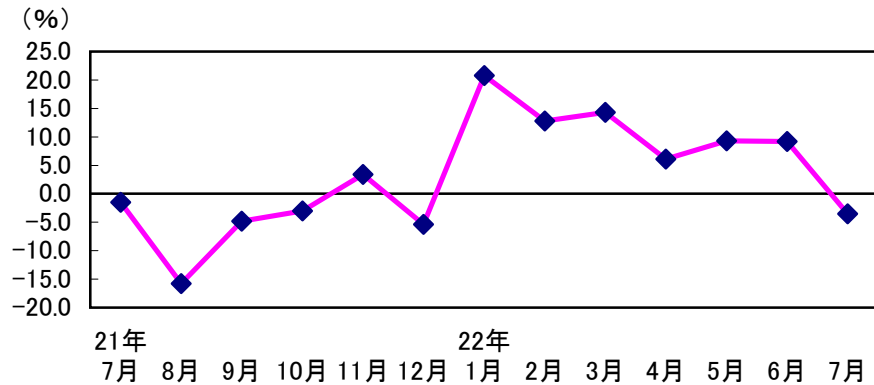
やや弱含みとなっている

売上高は前年同月比3.5%減。3カ月先の業況見通しDIは7.7と横ばいであった。

一部運輸業で、自動車関連部品の生産増に伴い貨物輸送量が増加しており、引き続き好調を維持している。

一方、コンピュータ関連や保険関連企業において前年を下回っており、全体として再び一昨年の生産額を下回った。

その他サービス業売上高前年同月比



	21年						22年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
その他サービス	-1.5	-15.8	-4.8	-3.0	3.4	-5.4	20.8	12.8	14.3	6.1	9.3	9.2	-3.5